

ご挨拶

昨年、日韓次世代学術フォーラムは20周年記念大会を成功裏に終え、今年2024年は21回目の大会を開催させていただき運びとなりました。この節目を機に、フォーラムの運営面での集中を図り、学術的な議論と人的交流を一層深化させてまいります。また、4,000名を超える過去の大会参加者の中で、現在も研究活動を継続されている新進研究者の皆様にもこれまで以上に積極的にご協力いただき、本フォーラム設立の目的である日韓の友好関係にさらに貢献していく所存です。

2020年代に入り、国際社会は混乱の中にあります。新型コロナウイルス感染症は鎮静化したものの、政治的には米中覇権競争が激化する中、ウクライナ戦争やイスラエルとハマスの間の戦闘が長期化し、これらを背景にインフレーションや貧困、そして社会的不平等が深刻化しています。さらに、グテーレス国連事務総長が「地球温暖化の時代は終わった。地球沸騰化の時代(The era of global boiling)が到来した」と公式に発言するほど、気候変動も深刻な状況にあります。今、我々が直面する喫緊の課題は、これらの危機状況に対応し、その解決策を共に模索することだと考えます。

よって、今大会のテーマは「グローバルイシューと日韓の共同対応」といたしました。基調講演には、ヨーロッパ、中東、アジア各国で外交官として積んだ豊富な経験を基に、現在、日韓の友好関係増進に努めていらっしゃる日韓文化交流基金の鹿取克章理事長をお招きしました。鹿取理事長の講演が、グローバルイシューに対する日韓両国の協力の必要性和共同対応策を考える機会となることを願っております。

新たな飛躍を始める第21回国際学術大会の開催校を引き受けてくださった都築明寿香学長をはじめとする日本経済大学の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、参加大学院生の推薦、発表論文の審査、大会の企画など多方面にわたりご支援いただいた日韓運営委員、諮問教授団の先生方をはじめとするフォーラム関係者の皆様、そして、今年のご大会にご参加いただいた大学院生の皆様に心より感謝を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

2024年6月
日韓次世代学術フォーラム 代表
東西大学校 総長

張 濟 国

フォーラム運営委員会

運営委員長 辛貞和(東西大)

分科	韓国側	日本側
国際関係	金珍基(釜慶大)	小針進(静岡県立大)
政治・法律	林錫俊(東亜大)	清水唯一朗(慶應義塾大)
経済・経営	朴盛彬(亜洲大)	木口武博(日本大)
歴史	宋亮燮(高麗大)	林雄介(明星大)
言語・文学	琴鍾愛(忠南大)	齋藤希史(東京大)
社会・ジェンダー	申智媛(全南大)	海妻徑子(岩手大)
宗教・思想	崔鍾成(ソウル大)	川瀬貴也(京都府立大)
文化・芸術	申光澈(ハンシン大)	濱田陽(帝京大)

全体日程

日	時間	内容
6/28(金)	15:00 以降	宿舍チェックイン
	18:00-19:30	大会運営委員会議 会場：西鉄ホテル クルーム 博多ミーティングルーム
6/29(土)	08:40-09:30	登録 会場：鴻臚館 3階 ロビー
	09:30-12:10	分科別発表・討論、総評
	12:10-13:10	昼食 会場：鴻臚館 3階 313
	12:10-13:10	引率教授懇談会 会場：鴻臚館 3階 364
	13:20-13:50	開会式 司会：清水唯一朗(慶應義塾大) 開会の辞：張濟国(フォーラム代表) 歓迎の辞：都築明寿香(日本経済大学学長) 会場：鴻臚館 4階 大講義室
	14:00-15:10	基調講演 司会：清水唯一朗(慶應義塾大) 講演者：鹿取克章 (公益財団法人日韓文化交流基金理事長) テーマ：「世界の中の日韓関係」 会場：鴻臚館 4階 大講義室
6/30(日)	15:30-18:10	分科別発表・討論、総評
	18:30-20:00	レセプション 会場：厚生会館 カフェテリア
6/30(日)	09:00-19:00	調査旅行 大分県日田市(豆田町、進撃の巨人ミュージアムほか) 福岡県太宰府市(太宰府天満宮、九州国立博物館)
7/1(月)	-	解散

大会準備委員会

準備委員長 田代雄三(日本経済大)

小笹克行(東西大)	山口達見(東西大)	張岩恩(東西大)
椿健太郎(日本経済大)	菅田晃平(日本経済大)	西森和子(日本経済大)

大会参加教授

※五十音順

日本側(12名)

伊東かおり(広島大)	李熙錫(城西大)	岩崎竹彦(熊本大)
緒方義広(福岡大)	栗田るみ子(城西大)	櫻井義秀(北海道大)
朱炫姝(目白大)	新里喜宣(長崎外大)	杉村豪一(常葉大)
鈴木啓孝(熊本大)	孫賢鎮(広島市立大)	奈良勝司(広島大)

韓国側(5名)

李亨權(忠南大)	李民志(Montclair State University)	李旺茂(京畿大)
朴炳道(慶尚国立大)	兪鏞郁(忠南大)	

日韓次世代学術フォーラム事務局

URL www.japancenter.or.kr Tel +82-51-320-1900~1

E-Mail jkjisedai@gmail.com

47011 韓国釜山広域市沙上區周禮路47 東西大学校日本研究センター内

日韓次世代学術フォーラム

第21回 国際学術大会

公開討論テーマ

グローバルイシューと日韓の共同対応

期間 2024年6月29日(土)~6月30日(日)
-29日(土) 開会式、基調講演、分科別発表・討論・総評
-30日(日) 調査旅行

場所 日本経済大学福岡キャンパス(福岡県太宰府市)

主催 日韓次世代学術フォーラム
主管 日本経済大学、東西大学校日本研究センター
協賛 国際交流基金、日本経済大学、東西大学校
後援 駐福岡大韓民国総領事館、公益財団法人日韓文化交流基金

2024

日韓次世代学術フォーラム 第21回国際学術大会

A 国際関係 / 政治・法律 / 経済・経営

司会 杉村豪一(常葉大)

場所 鴻臚館 3階 360

時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	JASMINE GNANAM JOHN (全南大)	韓国でのバングラデシュ・ジユマ難民の定着経験とコミュニティー形成	高橋佑稀乃 (神戸大)
10:05~10:40	成炫炫 (一橋大)	70年安保に向けた民社党の「自主防衛」論 - 「有事駐留」論と「駐留なき安保」を中心に-	李彦埔 (広島市立大)
10:50~11:25	鄭美恵 (東亜大)	帰還事業の被害回復と課題 在日朝鮮人の帰還事業に関する損害賠償請求訴訟を中心に	池内陸 (中央大[日本])
11:25~12:00	関雲基 (慶北大)	社会関係資本が地域発展に与える影響 -大韓民国慶尚北道栄州市を中心に-	菅谷優太 (大阪大)
12:00~12:10 総 評			
15:30~16:05	金叡珍 (韓国外大)	デジタル資産の自主規制法案研究 日本の自主規制団体「JVCEA」との比較を中心に	NING QIDONG (城西大)
16:05~16:40	菅谷優太 (大阪大)	若年層の過少代表とは正策 なぜは正策は導入されていないのか	関雲基 (慶北大)
16:50~17:25	申ジェソル (中央大[韓国])	債務国日本の財政健全化 -シュトレーク<時間かせぎの資本主義>の適用可能性の模索	相原勇希 (明治大)
17:25~18:00	相原勇希 (明治大)	米国人専門家による対韓金融租税勧告が 韓国財閥生成へ与えた影響についての研究	申ジェソル (中央大[韓国])
18:00~18:10 総 評			

B 歴史

司会 奈良勝司(広島大)

場所 鴻臚館 3階 363

時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	金珉秀 (忠南大)	朝鮮半島の旧石器時代の握斧の特徴 ：全谷里以後の新発見事例を中心に	ZHANGRUIFAN (名古屋大)
10:05~10:40	表知影 (韓国学中央研究院)	アメリカの朝鮮戦争戦争孤児像に関する研究 -NARA映像記録を中心に	林ひな (広島大)
10:50~11:25	韓相賢 (早稲田大)	百済王統譜の形成からみた 東アジアにおける百済史の展開	田中文浩 (広島大)
11:25~12:00	ZHANGRUIFAN (名古屋大)	東アジア三彩陶器の流れから見た 唐三彩と奈良三彩	金珉秀 (忠南大)
12:00~12:10 総 評			
15:30~16:05	LI JIAXIN (大阪経済大)	清帝退位前後における張作霖と日本	田中佑 (九州大)
16:05~16:40	川崎義仁 (熊本大)	地方における大正新教育への反応と実践 -吉田惟孝を通してみる熊本・鹿児島-	李ガウル (京畿大)
16:50~17:25	田中佑 (九州大)	君主の顧問とはどのような存在なのか ：近代日本における枢密院の事例を中心に	LI JIAXIN (大阪経済大)
17:25~18:00	鈴木淳 (広島大)	幕末期広島藩における農兵と諸隊	李多輝 (京畿大)
18:00~18:10 総 評			

C 言語・文学 / 民俗・人類

司会 朱炫妹(目白大)

場所 鴻臚館 3階 309

時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	宋智慧・車眞明 (忠南大)	メタバースドラマの特徴比較 -ZEPETOとiflandを中心に-	藤原みずき (関西大)
10:05~10:40	富山真裕美 (目白大)	高校での韓国語教育における 発音教育の重要性と効果的な指導法の提案	愼海云 (東西大)
10:50~11:25	JIANG XUN (関西大)	群司次郎正『ハルビン女』論 -救世主に成りきれない遊び客	宋智慧・車眞明 (忠南大)
11:25~12:00	吳知美 (中央大[韓国])	群山の水産業と朝鮮戦争避難民の生活 -オーラル・ヒストリーによる 民俗学的アプローチ-	岩崎早穂 (同志社大)
12:00~12:10 総 評			
15:30~16:05	李恩珠 (慶尚国立大)	韓国の妖怪研究の現況と小松和彦の 妖怪研究の背景に関する考察	岡本梓 (関西大)
16:05~16:40	李蓮淑 (中央大[韓国])	住宅構造の変化と家神信仰の関連性の研究 「廁神」を中心として	牛窪彩絢 (東京大)
16:50~17:25	姜世美 (韓国学中央研究院)	1950年代以降のソウルの臨時市場の 形成と変化	三田絵里加 (北海道大)
17:25~17:35 総 評			

D 社会・ジェンダー

司会 緒方義広(福岡大)

場所 鴻臚館 3階 310

時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	張淪在 (全南大)	移住と開発談論の観点から見る 韓国の中南米への労働者送り出し政策の考察	新海茜 (北海道大)
10:05~10:40	具漢玟 (延世大)	10・29梨泰院事故の都市的脈絡 ：時間的-空間的アプローチの統合	今里基 (立命館大)
10:50~11:25	渡邊優夏子 (東京大)	国民基礎生活保障法以前の韓国の貧困 -『保健福祉70年史』の分析を通して-	吳光佑 (聖潔大)
11:25~12:00	新海茜 (北海道大)	国際観光地としての地域特性を活かした 地域振興政策「Shiribeshi留学」の現状と課題	張淪在 (全南大)
12:00~12:10 総 評			
15:30~16:05	柝山瑠南 (一橋大)	「キーセン観光」の実態と反対運動の展開 -済州地域を中心に-	吳政娥 (中央大[韓国])
16:05~16:40	大橋一輝 (立命館大)	余暇活動の場で生起する 知的障害者の自立をめぐる実践	金恵仁 (国立歴史民俗博物館)
16:50~17:25	若林智香 (一橋大)	1930年代仁川における都市貧民の様相 -社会事業と都市空間からの排除を中心に-	具漢玟 (延世大)
17:25~17:35 総 評			

E 宗教・思想

司会 新里喜宣(長崎大)

場所 鴻臚館 3階 311

時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	金眞學 (韓国学中央研究院)	MZ世代の韓国人の名節祭祀の拒否分析 メアリー・ダグラスの文化理論を中心として	森本美都 (京都大)
10:05~10:40	李孝振 (ソウル大)	1930年代平壤教区の教育宣教と民族意識 カトリック運動(Actio Catholica)と 『カトリック研究』を中心に	服部直美 (東京大)
10:50~11:25	李元燮 (ソウル大)	20世紀の東学教団待天教の教理的特徴 『待天教月報』の「伝道文」を中心として	坪井俊樹 (東京大)
11:25~12:00	金辰謙 (韓国学中央研究院)	韓国と日本の宗教政策比較 宗教法制を中心に	近田佳乃 (神戸大)
12:00~12:10 総 評			
15:30~16:05	SHI YONGXU (東北大)	中江藤樹の「安楽」 -境界論を旨とする思想的特質	姜潤澤 (韓国学中央研究院)
16:05~16:40	服部直美 (東京大)	大國隆正のキリスト教理解 -「日本」とキリスト教の一断面として-	李孝振 (ソウル大)
16:50~17:25	森本美都 (京都大)	日韓における陰謀論の受容条件 -反ワクチン思想を事例に	金眞學 (韓国学中央研究院)
17:25~18:00	野仲美紅 (広島大)	真木和泉における「天」と「人心」 -徳川政権認識を手がかりに-	高マリ (ソウル大)
18:00~18:10 総 評			

F 文化・芸術

司会 鈴木啓孝(熊本大)

場所 鴻臚館 3階 312

時間	発表者	発表題目	指定討論者
09:30~10:05	吳政錫 (韓国外大)	キャラクターを用いたゲームにおける ストーリーテリングの有効性研究 -『ゼルダの伝説 ブレス オブ ザ ワイルド シリーズ』を中心に	藤岡美帆 (早稲田大)
10:05~10:40	吳炯昇 (高麗大)	検閲に対抗するゲーム空間の仮想公共図書館 マイクラフトの「検閲のない図書館」 を中心に	日比野未夢 (千葉大)
10:50~11:25	南宣朱 (高麗大)	慶州石窟庵の変相図での具現化	YAN QIUJUN (仙台高等専門学校)
11:25~12:00	權娜煥 (高麗大)	ドラマ<Eye love you>の韓食を中心とした ストーリーテリング研究-リンダ・ハッチオンの アダプテーションの理論を中心に-	永見音弥 (広島大)
12:00~12:10 総 評			
15:30~16:05	高秀玟 (韓国外大)	映画『THE FIRST SLAM DUNK』(2023)の ノスタルジアとヒット要因の関連性研究 -30・40代の「スルチンジャ」シンドローム を中心に-	栗林みり (早稲田大)
16:05~16:40	日比野未夢 (千葉大)	「表現の不自由展・その後」が開催された 経緯とその意味	吳炯昇 (高麗大)
16:50~17:25	栗林みり (早稲田大)	日本における第4次韓流ブームの 広がりの様相と文化受容 -フィールドワークによる-	尹美善 (東西大)
17:25~18:00	CHEN YONGQIANG (名古屋大)	東アジアにおける角杯文化の受容と展開	吳峻赫 (ソウル大)
18:00~18:10 総 評			